

達人リコメンドの四国～失われたアークを探して

1.奥祖谷

秘境と呼ばれるに相応しい奥祖谷。平家の落人伝説、旧約聖書の秘密の鍵となるクリスト神社があって、インディー・ジョーンズが探したアーク(聖櫃)が、剣山に埋まっていて、掘り起こせばマチュピチュ以上の地下都市が隠されている・・・などという神秘的な話が渦巻く徳島県の奥深い地区を徹底調査。

2014年のゴールデンウィークの旅は、題して「レイダース～失われたアークはいずこ？」



2.剣山と次郎笈

貞光の道の駅から90分、見ノ越の登山口からリフトに乗って西島、それから40分歩けば1955mの山頂に到達するのが普通ですが、今回は前日に岩戸温泉に宿泊、見ノ越の登山口にある剣神社に道中の安全を祈願してから、マイナスイオンを全身に浴び、鳥の声を聞きながら自分の足で登ることにしました。リフトの終点の西島からは多様なコースに分かれ、今回積雪により通行止めになっていた山岳信仰の修行の場でもある「行場」を通るものに、ご神体の剣の形をした大きな岩「御塔石」と「剣山御神水」が湧き出す大剣神社を通るものもありますが、上りは周囲が展望できる尾根道を進んでみました。山頂に到達すれば、尾根越しに見える次郎笈や三嶺方向の山々の緑が眩しい。



この美しい稜線が、ピラミッドみたいな人口構造物で、この下に地底都市が広がり、そのどこかにソロモンの財宝が隠され、モーセの十戒が記された石板を保管する箱(契約の箱)・アーク(聖櫃)がエルサレムから運ばれてこの山のどこかで保管されているという説も公にされています。過去には、ミイラや勾玉などが掘り出されたそうで、亀岩・鶴岩にはヒントが隠されているという説もあり冒険心

をくすぐります。確かに、剣山は別名、太郎笈、隣は次郎笈で「笈」という文字は、修験者が背負う箱を意味し櫃と同義ですから、アークが隠されている証明にもなります。



ここだけの話、アークは発見できなかったのですが、その中に大切に保管されているはずのモーセの石板の一部分を、登山道の途中で発見しましたから、この山のどこかにアークが眠っているに違いありません。



この稜線に魅せられ、1930mの次郎笈を目指します。美しい尾根道でしたが、すぐそこに見えているのに、まず急な斜面を下って、もっともっと急な斜面を上ります。途中で、モンベルとかコロムビアなどのブランドに身を固めた登山慣れしています風のオヤジから、「両手が使える状態で登りなさいよ。」などとアドバイスを受けました。確かに、山ガールなんて言葉が流行しているように、登山ファッションにお金をつぎ込んでいる人ばかりで、作業ズボンにユニクロもんを着て歩く私などシロウトに見えるんでしょうかね。ともかく、急坂を進み次郎笈山頂に到達。こちらから見る展望は神々しく、想像を掻き立てられます。下りは、大剣神社経由で安全第一。残雪が残る場所もありましたが、無事四国第二と第三の高さを誇る神の領域から、人の領域に舞い降りることができました。



3.奥祖谷二重かずら橋

小便小僧が絶壁に立ち、ケーブルで温泉、琵琶の滝を後方に控えたかずら橋も良いけど、達人イチ押し観光スポットは、ここです。はやりのコピペで紹介しますが、東祖谷の名頃にあり、約800年前に源平の戦いに敗れた平家一族が、再興を期して剣山・平家の馬場での訓練に通うために架設したと伝えられている。男橋、女橋との呼び名から別名夫婦橋とも呼ばれる2本の吊り橋は、敵の襲来に備えていつでも切り落とせるようにシラクチカズラでつくられ、川面から10mの高さに架かっている。眼下に流れる祖谷川は透明度が高くアメゴなどが泳ぐ。(四国観光検定公式テキストブックより)

また、女橋のすぐ上流に野猿という人カロープウェイもあって、楽しめること間違いなし。



4.名頃案山子の里

人里離れた山奥に、語らう人、工事を請け負う人、バスを待つ人などを発見・・・と思ったら、表情のある案山子。日本テレビの朝の「Zip！」に出演していたダイスケがモデルの案山子も居て、ほのぼ

のすること間違いなし。必見のスポットです。



5.奥祖谷観光周遊モノレールといやしの温泉

世界最長4600m、高低差も世界一590m、最大斜度40°、最頂標高1380m、のんびり森林浴の観光周遊モノレールは大人気。小歩危付近に宿泊して、9時40分に乗車券を買いに行くと、出発時間は14時30分。なんと1日の運行台数に限りがあり、もう少し遅く行けば乗車不能。乗車チケットを買えば、いやしの温泉にも入れるし、周辺観光とゆっくりできる時間が与えられたと考えて、乗車までの時間を有効に使用しました。



乗車すれば、所要時間65分、大自然と同化し、剣山系の山々の姿も展望できて、ヤマシャクヤクの花が咲き、おケツが白い野生のシカにも遭遇。モノレールから降りると、いやしの温泉から蕎麦菓子のプレゼント。余は満足です。





6. 落合集落展望と東祖谷歴史民族資料館

平家の落人が移り住んだという落合集落は圧巻。山の斜面に張り付いた状態で住居を構えています。東祖谷歴史民族資料館は、落人伝説と周辺の文化、生活調度品、自然などを展示しています。両方とも、モノレールの待ち時間があったからこそ訪問できた素敵なスペースです。



7. 栗枝渡(くりしど)八幡神社

山岳信仰の剣山のふもとに控える神社が、キリスト八幡という名前だけでも空想が膨らみませんか？ユダヤ・旧約聖書・エルサレム・・・ノアの箱舟がたどり着いた場所が室戸で、難を逃れて住みついた場所が奥祖谷。神道とキリスト教の融合？



栗枝渡八幡神社は、安徳天皇の遺骨を御神体とした神社だと言われている。社殿の傍らにある「御火葬場」は聖域とされ、周囲二間四方はどんなに大雪が降っても雪が降り積もらず、また、そこ

へ入ると腹痛がおこるといって村の人は今も近寄らないという。(四国観光検定公式テキストブックより)ともかく、パワースポットであることは確実です。



8.失われたアーク

秘境といわれる奥祖谷。落ちて来る場所なんて言われるかも知れませんが、山深さゆえに、人には理解できない神の領域の出来事が多々残っている場所かも知れません。旅する私も剣山の岩と同化し、アークの中に大切に保管されたモーセの十戒の一部・・すなわち、神との契約の内3つの部分を提示した石板と遭遇する事ができたので、ここに示すと共に、失われたアークは剣山にありという結論に達した上で、奥祖谷地区を勝手に、達人リコメンドの秘境と認定したいと思います。



平成26年5月8日記

旅は、平成26年5月2日～6日

Top
トップ
へ

Back
戻る